

—アダリムマブBS皮下注「FKB」の使用を検討されている眼科医の先生方へ—

アダリムマブBS皮下注20mgシリンジ0.4mL「FKB」 アダリムマブBS皮下注40mgシリンジ0.8mL「FKB」 アダリムマブBS皮下注40mgペン0.8mL「FKB」

非感染性ぶどう膜炎に対する適正使用体制へのご協力をお願い

アダリムマブBS皮下注「FKB」(先行バイオ医薬品:ヒュミラ®)は、2022年2月に「既存治療で効果不十分な非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎」の効能又は効果の追加承認を取得しました※1。

※1: 今回の追加承認の対象は、アダリムマブBS皮下注40mgシリンジ0.8mL「FKB」、アダリムマブBS皮下注40mgペン0.8mL「FKB」

TNF阻害薬(インフリキシマブ、アダリムマブ)を非感染性ぶどう膜炎に対して使用する際は、『非感染性ぶどう膜炎に対するTNF阻害薬使用指針および安全対策マニュアル(改訂第2版、2019年版)』に従い、以下の条件を満たした医師および医療施設における適正な使用が求められます。

医師および医療施設の条件^{1)※2}

医師基準	以下の2項目を満たすものとする。 <ul style="list-style-type: none">日本眼科学会の定める眼科専門医の資格を有し、かつ日本眼炎症学会の会員であること日本眼炎症学会の定めるeラーニング講習を修了したもの
施設基準	【導入施設】 <ul style="list-style-type: none">重篤な副作用の発現などに対する定期的な検査や、投与時に急速に発症する可能性のある副作用に迅速に対応できること呼吸器疾患、感染性疾患について対応が十分可能であることTNF阻害薬の使用に精通した内科医との連携ができること
	【維持療法施設】 <ul style="list-style-type: none">日常診療において、導入施設との連携が的確に行われていること緊急時には導入施設と連携し、迅速な対応が可能であること維持療法施設での治療開始後も、導入施設において定期的な経過観察を並行して実施可能であること

1) 日本眼炎症学会TNF阻害薬使用検討委員会: 非感染性ぶどう膜炎に対するTNF阻害薬使用指針および安全対策マニュアル(改訂第2版、2019年版)。日眼会誌123: 697-698, 2019より作成

※2: アダリムマブBS皮下注「FKB」では、本適正使用体制は非感染性ぶどう膜炎の場合のみ適応となります。

eラーニングの受講にあたっては、『非感染性ぶどう膜炎に対するTNF阻害薬使用指針および安全対策マニュアル(改訂第2版、2019年版)』を必ずご一読いただきますようお願い申し上げます。

非感染性ぶどう膜炎に対するTNF阻害薬の適正使用に関するeラーニング受講のご案内

<https://tnf-i-tekiseishiyou.com/web/page1.html>

監修 日本眼炎症学会TNF阻害薬使用検討委員会

- 上記登録フォームからご本人による受講登録をしていただき、登録後にメールにて通知されるURLから受講してください。
- 日本眼炎症学会のホームページからもアクセスできます。
- 日本眼科学会の定める眼科専門医の資格を有し、かつ日本眼炎症学会の会員である方が受講対象となります。
- eラーニング修了後に、施設要件を確認して施設情報を入力していただきますようお願いいたします。

製造販売元 協和キリン 富士フイルムバイオロジクス株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号

販売元 マイランEPD合同会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

販売提携 ヴィアトリス製薬株式会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号



Mylan is a Viatris group company